

矢巾町定例記者会見

日 時：令和2年2月13日（木）
午前9時～午前9時30分
場 所：役場2-2会議室

【内容】

- 1 就職氷河期世代を対象とした矢巾町職員採用試験について
（総務課）
- 2 食と健康の公開講座の開催について
（健康長寿課）
- 3 東京2020オリンピック・パラリンピックに係る「復興『ありがとう』ホストタウン」登録について
（社会教育課）
- 4 令和元年度矢巾町書道展の開催について
（社会教育課）
- 5 「第1回矢巾町俳句大会～小原啄葉生誕の地～」の開催について
（社会教育課）

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 1

発表日時	令和2年2月13日（木）午前9時から
案件名	就職氷河期世代を対象とした矢巾町職員採用試験について
所管部署	総務課 職員係 担当者 白澤 知加子

発表要旨

就職氷河期に希望する就職ができなかった方で、矢巾町で働きたいという意欲がある方を下記のとおり募集しております。

記

- 職種 土木技術職
- 採用予定人数 2名
- 採用予定時期 令和2年5月1日
- 生年月日 昭和49年4月2日から昭和59年4月1日までの間に生まれた人
- 学歴及び資格 高校以上を卒業した方で、次のいずれかに該当するもの
 - 1 土木の専門課程を履修したもの
 - 2 土木施工管理技士の資格を有するもの
- 第1次試験 令和2年3月8日（日）
- 受付期間 令和2年2月28日（金）まで
- 受験案内等 受験案内、申込書は矢巾町役場1階総合案内等で配布
- 問い合わせ 矢巾町総務課職員係 電話019-611-2703

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 3

発表日時	令和2年2月13日（木） 午前9時から
案件名	東京2020オリンピック・パラリンピックに係る「復興『ありがとう』ホストタウン」登録について
所管部署	社会教育課 担当者 課長 浅沼 仁

発表要旨

このたび矢巾町では、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が被災3県（岩手県、宮城県、福島県）向けに募集を行っている「復興『ありがとう』ホストタウン」（概要については別紙資料参照）に応募し、2月7日（金）に登録となりました。

記

1 交流の相手方

オーストリア共和国

2 交流国決定の経緯

「音楽の都」ウィーンを首都にもつオーストリアと、2016年に「音楽のまち」を宣言した本町には『音楽』という共通点があり、岩手県立不来方高等学校音楽部が2008年から行っている演奏旅行でも交流を深めてきました。

2011年の東日本大震災発災時には、オーストリアから175万円の義援金と、約2,000枚のメッセージカードが寄せられ、それらは不来方高校音楽部が県内被災地を回り、支援活動として演奏会を開催した際に義援金とともに届けられました。

このご縁から、今回オーストリアを交流国として決定したものです。

3 交流の目的

今回の事業を契機とし、音楽のみならずスポーツや芸術文化など広く長く交流を続けていくことと、ヨーロッパ文化について理解を深め、国際色豊かな人材育成を進める新たな機会としたいと考えております。

また、同時に岩手県や矢巾町の文化も発信していきたいと考えております。

4 今後の交流内容（案）

- ・オーストリアの方々を招待し、音楽をはじめスポーツや芸術文化など広く理解を深める交流を行います。
- ・大会終了後、オリンピック、パラリンピアンまたは関係者に本町を訪問していただき、町民との交流会・慰労会を実施します。
- ・義援金をお渡しした山田町、釜石市など沿岸部を訪問し復興の状況を確認してもらうほか、被災者交流などで感謝を伝えます。
- ・大会終了後においても、オーストリア関係者が来日した際に本町に招待するとともに、岩手県立不来方高校のオーストリア海外公演に合わせて渡欧するなど、小中学生をはじめ町民が音楽・スポーツ・文化交流等を継続できるよう国際交流事業の一環として取り組んでいきます。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 4

発表日時	令和2年2月13日（木） 午前9時から
案件名	令和元年度矢巾町書道展の開催について
所管部署	社会教育課 生涯学習係 担当者 門脇耕一

発表要旨

○日時 令和2年2月20日（木）～24日（月）午前9時～午後7時

※最終日のみ午後3時まで

○場所 矢巾町公民館

○内容 町民の芸術文化活動の振興を図り、情操豊かな生活の形成に資することを目的として活動している矢巾町芸術文化振興基金運営委員会が、平成7年度から実施している事業であり、今回で25回目を迎えます。

開催当初は小規模な事業でしたが、年々規模が拡大し、町内の全小中学校や高等学校の児童生徒、書道教室の皆さんが参加する、県内有数の出品数を誇る書道展となっております。

参加者はこの展示に出品することを励みにしており、例年多くの心のこもった作品が展示され、それを楽しみにして多くの方が来場します。入場無料となっております、どなたでもご自由にご覧いただけます。

また、今回は初めての試みとして、岩手書道協会の協力により、会期中の22日（土）午前10時から午後2時まで、「書に親しむ～色紙に好きな文字を書こう」という体験型イベントを開催します。来場者に、好きな文字を色紙に書いていただくというものです。参加料は無料でありどなたでも参加できます。当日会場にて受け付けを行います。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 5

発表日時	令和2年2月13日(木) 午前9時から
案件名	「第1回矢巾町俳句大会～小原啄葉生誕の地～」の開催について
所管部署	社会教育課 生涯学習係 担当者 門脇耕一

発表要旨

- 日時 令和2年3月8日(日) 午前11時30分から
- 場所 矢巾町公民館2階第3・4研修室
- 投句受付 午前11時30分～午後0時30分 春の句、三句一組
- 大会 午後1時～午後4時15分
- 投句料 1組千円(当日受付にて。高校生以下無料)
- 選者 白濱一羊氏、小畑柚流氏、澤口航悠氏、二階堂光江氏
IBC岩手放送アナウンサー 長谷川拳杜氏(特別選者)
- 表彰 大会賞、選者賞
- 内容 矢巾町俳句大会実行委員会では、名誉町民で岩手県の俳壇の発展に貢献した小原啄葉先生にちなみ、俳句大会を開催します。どなたでも投句できます。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、聴講のみの参加も可能です。

主イベント

【お知らせ】

2月上旬から3月中旬までの主なスケジュール

- | | |
|----------|--|
| 2月22日（日） | 食と健康の公開講座の開催について
（午後1時30分～ 田園ホール） |
| 25日（火） | スミつけ祭り写真コンクール審査会
（午後5時～ 矢巾町国民保養センター） |
| 3月 3日（火） | 矢巾町議会定例会 3月会議
（午前10時～ 役場4階議場） |
| 8日（日） | 第1回矢巾町俳句大会～小原啄葉生誕の地～
（午前11時30分～ 矢巾町公民館2階3・4研修室） |
| 10日（火） | 3月定例記者会見
（午前9時～ 役場2階2-2会議室）
3月町民懇談会
（午前10時～ 町公民館3階大研修室） |

※イベントの詳細については、直接、担当課にお問い合わせください。



《主催》 矢巾町食生活改善推進員協議会

食と健康の公開講座

～ 家族の笑顔は健康づくりから ～

2020年

2月22日(土)

13:30～16:00(開場 13:00)

矢巾町文化会館 田園ホール

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅 13-123

参加無料

定員 400名

全席自由

お申込み
締切日

2020年

2月14日(金)

お申し込み方法・会場へのアクセスは裏面をご覧ください →

食と健康について学び、家族の健康と笑顔を育てましょう。

基調講演

14:00～15:00

医学・看護の立場から伝えたい

自分の体の主人公になろう

講師: 岩手医科大学 看護学部 共通基盤看護学講座
特任准教授 三浦 幸枝 氏



食べる楽しみは生きる喜び。自分や家族の喜びをいつまでも守るために、今あなたが出来ることを考えてみませんか。

特別講演

15:10～16:00

テレビでおなじみの野菜博士登場!

野菜のアレコレ

講師: やおやさき
店主 佐々木 雄一 氏



野菜の栄養や保存方法、雑学など、つい誰かに教えたくなる野菜の知識と一緒に学びましょう。

参加者特典

郷土菓子「2色がんづき」プレゼント! ※講座終了後に配布します。

本事業は (公財) いきいき岩手支援財団の助成により実施するものです。

2020年
2月22日(土)
開催

矢巾町食生活改善推進員協議会 主催
食と健康の公開講座

～家族の笑顔は健康づくりから～

定員
400名

※先着順で定員になり次第、
締切とさせていただきます。

お申込み・お問い合わせについて

・参加ご希望の方は、下記の場所にて整理券をお受け取りください。

整理券
配布所
※下記マップの
箇所

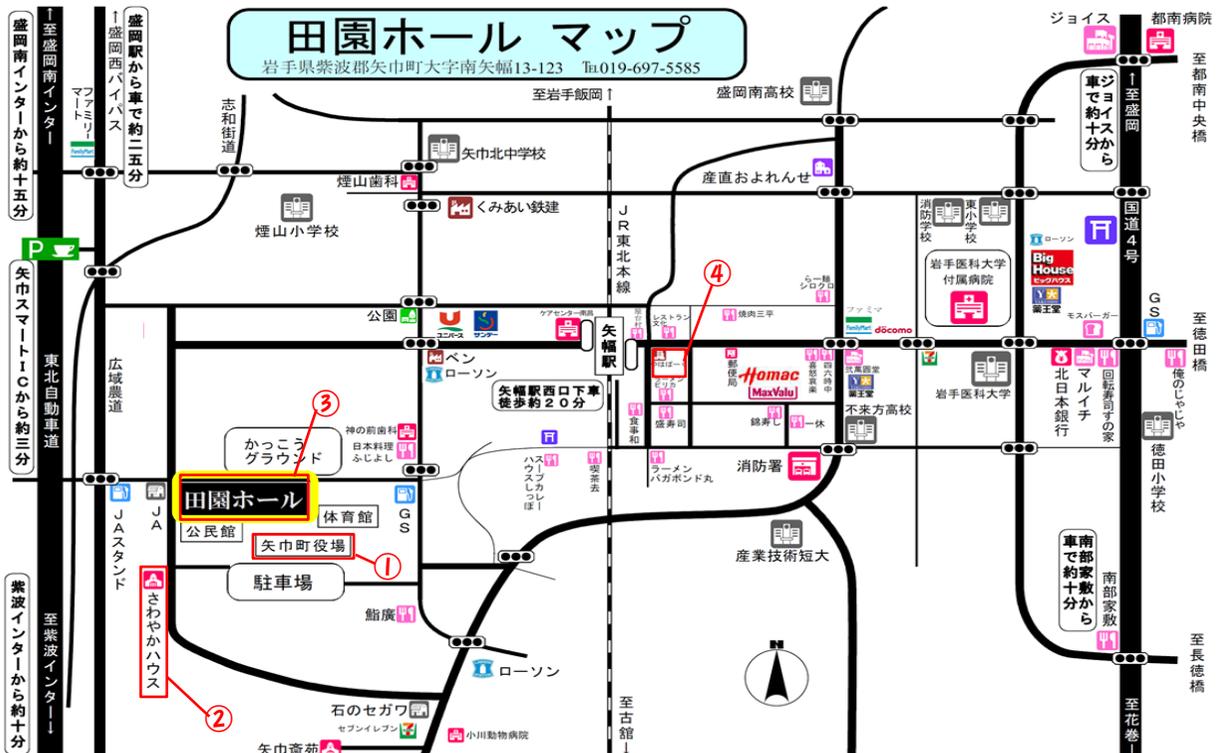
- ① 矢巾町役場 1階 町民ホール総合案内
(〒028-3692 岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅13-123)
- ② 矢巾町保健福祉交流センターさわやかハウス内 健康長寿課窓口
(〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅14-78)
- ③ 矢巾町文化会館 田園ホール 窓口
(〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅13-123)
- ④ 矢巾町活動交流センター やはぱーく
(〒028-3618 岩手県紫波郡矢巾町駅東1丁目12-1)

お申込み締切
2月14日(金)
まで

問い合わせ先

TEL: 019-611-2827 (直通) 矢巾町役場健康長寿課まで

会場へのアクセス：矢巾町文化会館 田園ホール



復興「ありがとう」ホストタウンについて

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局は、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体に対し、これまで支援してくれた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行うホストタウンを「復興『ありがとう』ホストタウン」として新設し、2020年に向けた交流を全面的に支援。

復興「ありがとう」ホストタウンとは

- 交流相手の主体を「被災時等に支援してくれた方々」も
被災時に現場に入って支援してくれた各国のレスキュー隊員や、支援物資等を送ってくれた方々など、復興に貢献頂いた方々を被災地に招いた交流を行う。
- 交流を機に「復興プロセスの発信」を
交流の機会に復興のプロセスの説明や、各地の被災地ツアーの参加などを行い、被災地の過去と現在の紹介を実施。
- 東京大会開催後の大会関係者との交流を重視
2020年の東京大会の競技終了後に、相手国・地域の選手等とリラックスした状況での交流を重視。

※国・県が連携しホストタウン登録前の自治体を登録に向けて全面的にバックアップ。

【交流のイメージ】

- ・和太鼓の支援を受けた小中学生が支援を頂いた国の子どもたちと交流
- ・コミュニティホール建設の支援を受けた自治体が支援を頂いた国の関係者と同ホールで交流
- ・従来から学校建設の支援をしていた国から震災時に受けた支援へのお礼を兼ねて交流

【担当】内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
荒井、安藤、金子 (TEL: 03-3581-0163)

復興ありがとうホストタウン（第14次）自治体について

令和2年2月7日

自治体 (相手国等)	受けた支援の概要	取り組もうとする事業の概要
岩手県矢巾町 (オーストリア)	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本合唱コンクールなどで幾度となく上位入賞を果たしている岩手県立不来方高等学校音楽部は、ヨーロッパを中心に演奏旅行を行っており、音楽の都オーストリア共和国のウィーンにて教会での献歌、地元高校生との交流コンサートなどを行い、合唱を通じて交流を深めてきた。 ・その縁から不来方高等学校教諭の同級生であるオーストリア在住の日本人ピアニストが東日本大震災の窮状を悼み演奏旅行をした際に不来方高校生がお世話になったホストファミリーに募金を呼びかけるとともに、現地の小中学校で被災地の状況を伝えたところ、約2千枚のメッセージが寄せられた。 ・集まった募金とメッセージは、不来方高等学校音楽部が被災者支援活動として岩手県山田町や釜石市で演奏会を行った際に両自治体へ届けられた。 ・また、オーストリアから日本に贈られた義援金は、日本赤十字社を通じて矢巾町で避難生活を余儀なくされた方たちに家電支給などの生活支援に充てられ、暮らしに対する不安の軽減につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大使館職員または在日オーストリアの方々を招待し、オーストリアについて、スポーツのみならず音楽・文化・風俗など広く理解を深める交流を行う。 ・大会中は、感謝の意を込めてオーストリア選手の応援を行う。 ・大会終了後、オリンピック、パラリンピアンまたは関係者に本町を訪問していただき、町民との交流会・慰労会を実施。 ・山田町、釜石市など沿岸部を訪問し復興の状況を確認してもらい、被災者交流などで感謝を伝える。 ・大会終了後においても、オーストリア関係者が来日した際には本町に招待するとともに、岩手県立不来方高等学校音楽部のオーストリア海外公演に合わせて感謝の意を伝えるなど、小中高年生をはじめ町民が音楽交流・スポーツ交流等を継続できるよう取り組んでいく。

この登録により、登録数：406件、自治体数：479、相手国・地域：163となる。

(復興ありがとうホストタウンの登録数は、28件(30自治体)となる。)

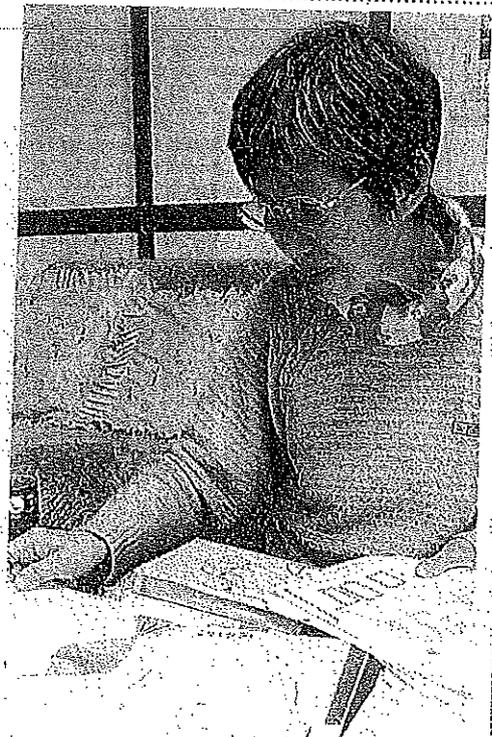
遠くても 寄り添う言葉

オーストリア・長岡さん(盛岡出身)の紹介

盛岡市出身のピアニスト長岡直子さん(53)才。同級生の村松玲子・イストリア在住から、不來方高教頭兼主任指導現地の子どもたちが東日本大震災の被災地へ寄せたメッセージカードが届け、ホストファミリーになっていた。長岡さんの同級生と現地の人々との交流が、75万円が集まった。きっかけ。「ガンバレ」その後活動の話も聞いた。日本語のメッセージなど、長岡さんは現地の石市に贈られる。オーストリア・リンツのブルックナー音楽大学などでピアノの教師を務める長岡さんは震災後、「被災地のため何かした

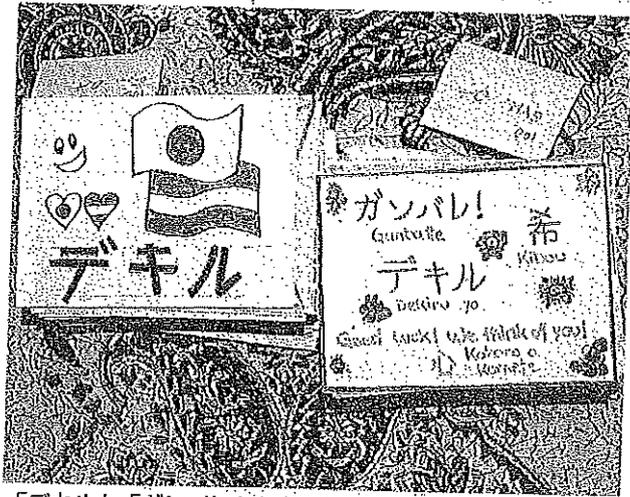
現地の子ども「ガンバレ」

メッセージ 2000枚



「Ganbatte」「デキル」などと書かれたメッセージを読む長岡弘子さん(盛岡市)

た。段ボール3箱分のメッセージが27日夜、盛岡市演奏会を開くのに合わせに到着。メッセージはドイツ語、英語のほか「ガンバレ」「デキル」など日本語でも書かれ、子どもたちの温かい気持ちや伝わる。長岡さんの母弘子さん(76)は「津波は本當につらいことだけれど、絆が結ばればよい」と願う。長岡さんは「子どもたちの真心がこもったメッセージ。被災地はまだそれどころでないかもしれないが、本當に応援している」と語った。



「デキル」「ガンバレ」などのメッセージが書かれたカード

メッセージは30日、不來方高音楽部が山田町で演奏会を開くのに合わせに到着。5月上旬には同じく同級生の加藤孔子・金石小校長が釜石市内の小中学校に届ける予定だ。募金は山田町と釜石市に寄付する。

2011. 4. 3 朝日



避難所訪ね合唱披露 不來方高音楽部

県立不來方高校(矢巾町)音楽部の生徒ら31人が1日、避難所になっている沿岸の学校を訪ね、歌を披露した。写真、高橋正徳撮影。大槌高校の体育館では、「アニメ」となりの「トロロ」の「さんぽ」を振りつけて歌い、子どもたちがまねながら口ずさんだ。被災者の近くに座りながら「ふるさと」を合唱すると、涙を流す人もいた。

自宅が流され、避難所で生活する小笠原いよこさん(57)は「頭の中にはがれきと泥の残骸しかなく真っ暗だった。澄んだ歌声を聞いて、青い海とか緑の山とか色のある風景が頭に浮かんだ。震災後、はじめて希望がもてた」と泣きながら話した。

(貞国聖子)

山田で 不来方高 生徒が真心込め合唱



避難者と一緒に「ずいずいずころばし」を楽しむ
不来方高音楽部員と山田町の山田北小避難所

矢巾町の不来方高音
楽部は30日、山田町の
避難所になっている山
田北小で「東日本大震
災復興支援コンサート」

「上を向いて歩こう」
などの歌謡曲や童謡、
アニメの主題歌を振り
付けを交えて披露。避
難者と一緒に遊び、歌

「上を向いて歩こう」
などの歌謡曲や童謡、
アニメの主題歌を振り
付けを交えて披露。避
難者と一緒に遊び、歌

同日は宮古市でもコン
サートが開かれた。

の「ずいずいずころ
ばし」も楽しんだ。
生徒の真心がこもっ
た歌声に避難者は聞き
入り、会場からすすり
泣く声も。自宅が津波
で流された佐々木トシ
さん(66)は「心がほぐ
れて自然と涙した。気
持ちを和ませてくれて
ありがたい」と感謝し
た。

部長の佐々木千帆さ
ん(3年)は「涙を流
して感激してくれた人
もあり、うれしかった。
今後機会があれば力
になりたい」と話した。

歌声よ心に響け



豊後きの布団が積み重ねられた体育館で、不來方高音楽部の合唱に耳を傾ける避難者たち（山田北小学校）

山田町の 避難所で 不來方高音楽部が合唱

山田町立山田北小学校の体育館では、41人の町民が避難生活を送っている。大所帯だが、ほとんどが顔見知りなこともあって居住空間をタンホールで仕切ることはしていない。その風情らしのいい空間がコンサートの会場になった。時刻になると、町民は積み重ねられた布団の横で簡易ステージを向き、耳を澄ませた。歌声が共鳴するにつれて、我儘していた涙がポロポロと流れ落ちる。わが子を隣に連れて抱きしめる母親、義理の指輪に触れる女性が目に入った。（菊地由加 幸）

県立不來方高校の音日は山田町出身で盛岡支部（佐々木航一郎部長、市在住の木村徳郎さん）部員31人、村松玲子顧問（元同町教育長）も顧問は、沿岸被災地をめぐり、復興支援コンサートを開いている。4月1日には釜石・大槌・山田、6日は宮古・田老・岩泉、30日には山田・宮古に「日本の歌声」を届けた。コンサートは「切手のない手紙」で暑を聞ける。曲間にメッセージを語りかけながら計15曲を歌いきった。同

の「ふるさとの」では、木村さんは村松顧問の恩師。村松さんは同じく木村さんの教え子で同級生のクワック直子さん（フィストリア）主任のピアノ（スト）から託された贈り物も同町へ届いた。

部長の佐々木さんは「4月1日のコンサートはまた時間が経っておらず、皆さん寝れて

いる様子だった。きょうは皆さん涙を流してくださった。同じ環境にいると、辛いのはみんな一緒だからと言って泣かないはず。歌を聞いたら涙が出て気持ちがあがりました」といふ言葉をいたぐと、お役に立てたと思えた」と話した。花田まさ子さんの88は「子どもがいなくても、だから本当にうれしかった。涙が出てきた」と、コンサート終了後も目を潤ませていた。「良かった」と話した千代川正栄さん（80）は、中学校卒業後から山田の海で生きてきた漁師。この日、漁協から養殖漁業就業センター

「ト」をもちつてきた。提出期限は5月6日。「やりたいのはやりたいが、これから借金をしてまで漁師を続けたい」

るかどうか。船は残ったが、車がないので希望の仮設住宅に入れなければ海まで通えない。やるつもりが、今度は1年をきりかたが、力かなどは年かかると、それまでは無職、借金を残しても漁師を続けるべきかと、複雑な心境で耳を傾けていた。

2011. 9. 28

2011年(平成23年)7月28日(木曜日)

地 域 (22)

沿岸部

八戸支社
0178(43)1010
洋野支局
0194(69)1060
久慈支局
0194(53)3030
宮古支局
0193(62)1771
釜石支局
0193(23)5107
大船渡、陸前高田
合同支局
0192(27)3070

地域の話題・情報お寄せください

迫力のピアノ、児童に元気

釜石小 長岡さん(オーストリア在佳)披露

オーストリア在住の

ピアノリスト長岡直子さ

ん(53)は27日、釜石市

大渡町の釜石小(加藤

孔子校長、児童140

人)の終業式でミニコ

ンサートを開いた。児

童は優雅な生演奏に耳

を傾け、1学期を締め

くくった。

長岡さんは全校児童

を前にオーストリアの

作曲家モーツァルトの

「トルコ行進曲」など

3曲を披露。力強い演

奏に児童は大きな拍手

を送った。

コンサートの終わり

には、児童が長岡さん

の伴奏に合わせ今月の

合唱曲と校歌を合唱。

元気の歌声が会場いっ

ぱいに広がった。

長岡さんは「皆さん

が一生懸命、津波から

逃げて助かったことを

とてもうれしく思いま

す。これからも明るく

前向きに過ごしてくだ

さい」と呼び掛けた。

松田ルミナさん(6

年)は「生演奏は迫力

があってびっくりし
た。知ってる曲もあっ
たので楽しかった」と



長岡直子さん(中央)の伴奏で元
気な歌声を響かせる釜石小の児童

笑顔を見せた。

ミニコンサートは、

加藤校長の同級生であ

る長岡さんが企画。長

岡さんは来月18日に盛

岡市内で開かれるチャ

リティーコンサートに

も出演を予定してい

令和元年度

矢巾町



書

道展

二月二十二日(土) 午前十時～午後二時

3階大研修室にて

岩手書道協会・体験イベント

「書に親しむ

色紙に好きな文字を書こう」開催

※参加費無料、当日会場にて受付
どなたでも参加できます

《参加団体》 *順不同

日本習字大久保教室・一先会小琴書道教室・書道愛好会
広宮沢習字クラブ・矢巾教室・墨洋社矢巾支部
東遊書道教室・書道倶楽部鳴鳳会・天瀬書道教室
蕙香書道サークル・徳田小学校
煙山小学校・不動小学校・矢巾東小学校・矢巾中学校
矢巾北中学校・県立不来方高等学校 ほか

日時

令和二年

二月二十日(木) ～ 二十四日(月)

午前九時～午後七時(最終日は午後三時まで)

場所

矢巾町公民館 全館

主催 / 矢巾町芸術文化振興基金運営委員会・矢巾町教育委員会

共催 / 矢巾町芸術文化協会

後援 / 岩手県芸術文化協会

【問い合わせ】社会教育課生涯学習係(町公民館内) ☎019-611-2852